



ご声援ありがとうございました

この通信は、不定期ですが、
月2回ほど発行します。

遅くなりましたが、運動会でのご声援ありがとうございました。

スタート時は天気を心配しましたが、子どもたちのやる気と職員の熱気で雲を吹き飛ばすことができました。途中からは天気が良くなりすぎて、少々暑さにめげそうになりましたが、怪我や熱中症などもなく無事に終えることができ安堵しています。

ご覧いただいたとおり、子どもたちは真剣に、粘り強く、協力して競技や演技を頑張りました。

本番まですべてが順調であったかというところではありません。協力やまとまりが足りないときには、実行委員長が全校に向けて話をし、団長がそれぞれの思いを団員に伝えながら作り上げた運動会です。

決して100点ではありませんが、子どもたちの中からもよりよい運動会にしようとする意気込みが感じられました。

赤団が競技・応援ともに優勝する結果になりましたが、9年生の涙に象徴されるように、どちらの団も精一杯力を尽くしてくれました。

また、競技役員の子どもたちも、自分の持ち場でしっかり役割を果たしてくれ、とてもスムーズな運営ができたと思っています。

P T A三役をはじめ、保護者の方々にも多大なご協力をいただきました。おかげさまで、前日準備や当日の駐車場整理、後片付けなど、考えていた以上にスムーズな運営ができました。ありがとうございました。

さらに、これは手前味噌になりますが、子どもたちの活躍、成長の裏には、本校職員の献身的な指導があったことをどうしても書きたいと思えます。身内を持ち上げるのは好まないのですが、昼休みも放課後もなく、熱心に子どもに関わってくれました。心から感謝しています。

運動会が終わったばかりですが、学校はすでに「渚フェ」モードに入っています。これまでは、小学部の教室から「若い力」の元気な歌声が響いていましたが、今は、中学部の教室から合唱コンクールの課題曲(?)が昼休みや帰りの会の時間に聞こえてきます。なんと切り替えの早い子どもたちかと感心しています。

どうぞ、渚フェスティバルでの発表もお楽しみに。



何年ぶりかなあ

9月28日に、日向・東臼杵地区英語暗唱・弁論大会が行われました。

本校からは2名の生徒が出場しました。二人ともすばらしいスピーチを披露してくれました。言葉もジェスチャーも表情も。素人目には、二人とも入賞しておかしくないと思うほどです。

結果、9年生の川野裕佳さんが弁論の部で最優秀賞を獲得しました。日向と東臼杵を合わせた中でトップです。

裕佳さんは、10月18日(火)に行われる県大会に出場します。さらにレベルアップしたスピーチを聞かせてくれることでしょう。

この英語暗唱・弁論大会で、県大会に行くのは何年ぶりでしょう。少なくとも、校長が在籍していた4年間は実績がありません。

ここから常連になるといいなあ。じんわりと教科担任の先生にプレッシャーを・・・。



本校の最大の課題です(´。`;)

9月29日に文部科学省が全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。テレビ等でも報道されたとおり、宮崎県はほとんど全国平均を下回る結果となっています。

本校はというと・・・(.;)

県の平均を超えているところもあるのですが、大部分は県平均を下回っています。

これは、当該学年や前年度の学年の指導だけに限らず、これまで5年間または8年間の積み上げの結果です。全職員でもう一度課題を整理し、対策を講じたいと思えます。

また、質問紙においても、平日の家庭での学習時間や将来の目標については、県平均と比べてもあまり高くありません。

子どもに身に付けてほしい力は学力だけではなく、進路選択や生き方を模索する上で、学力は大きなウェイトを占めます。

改めて本校の課題を整理してお示ししますので、保護者の皆様のご協力もお願いいたします。